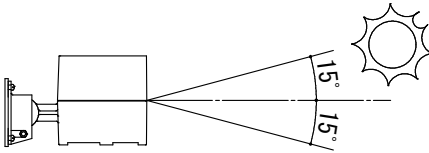
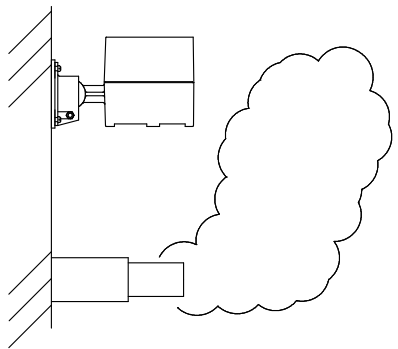


トラブルシューティング

| 項目 | チェック内容 |
|-----|--|
| [1] | <p>再度、CU各々の「端子台」の接続状態を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「端子台（電源）」に電源（AC100V、又はAC200V）を接続する。 ・「端子台（FG）」にアースを接続する。 ・「端子台（出力1）」にボイラー、ヒーター等の負荷を接続する。（通常はこちらに接続） ・出力1、及び2は無電圧接点出力です。（AC250V3A） ・「端子台（地温）」に専用の地温センサを接続する。（地温センサを使用する場合） <p>CUの「降雪センサコネクタ」にコネクタが根元まで入っているかを確認する。</p> |
| [2] | <p>SS下部の「接続コネクタ」にコネクタが根元まで入っているか確認する。</p> <p>ロックねじを最後まで回しているかを確認する。 （ねじ式ロック付のコネクタがSS側になります）</p> <p>結束バンドでケーブルを固定してください。</p> |
| [3] | <p>CUの「管ヒューズ」が切れていないかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「管ヒューズ」は、CU上部の蓋を外して、CU基板右側の真中にあります。 <p>切れている場合は原因を確認の上「管ヒューズ」（125V2A）を交換してください。</p> <p>CUの電源部に繋がれているコネクタ部の抜けがないかを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CU上部の蓋を外し、CUの電源スイッチ部とCU基板に繋がれているコネクタ部の抜けがないかを確認する。 |
| [4] | <p>再度、設置場所を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SS前面に障害物等が無いか再度確認する。 ・SS前面に汚れ等が無いか確認する。 |
| [5] | <p>以下の要領で降雪信号を入れてください。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <pre> graph LR A[1分目 さえぎり 動作 5回程度] --> B[2分目 さえぎり 動作 5回程度] B --> C[3分目 CU 「運転中」 ランプ点灯] </pre> </div> <p>必ず手や棒等でさえぎり動作を行なってください。</p> <p>SSの検出部を布等で覆わないでください。</p> |
| [6] | <p>周囲が囲まれると風向きによっては雪が降ってこない場合があります。</p> <p>設置場所を再度検討してください。</p> |

※CUはセントラルユニット、SSは降雪センサ部を示す。

| | |
|--------|--|
| [7] | 障害物が妨げになり誤検出する場合があります。 設置場所を再度検討してください。 |
| [8] | 落雪によりSSが破損する恐れがあります。 設置場所を再度検討してください。 |
| [9] | 赤外線が雪片に届かず、降雪の検出が出来ません。 検知距離は標準タイプ0.5m、Eタイプ1.0m以内です。 設置場所を再度検討してください。 |
| [10] | コネクタのピンを濡れた状態のまま放置すると腐食原因となります。 コネクタが濡れた場合はよく乾燥させてから接続をして下さい。 |
| [11] | ケーブルが引っぱられコネクタ部に負荷がかかり破損する恐れがあります。 |
| [12] | 窓ガラスや鏡等の反射率の高いものが前面にあると正常に検出できません。 方向を変えるか、設置場所を再度検討してください。 |
| [13] | 電源が入っていないと動作しません。 CUの電源部を再度確認してください。 |
| [14] | ケーブル（コネクタ部分）を交換してください。 |
| [15] | 柔らかい布等でSSの前面を掃除してください。 |
| [16] | 北西の方向には向けないでください。 冬期間は北西の風が吹きつける場合が多く、SS前面部に雪が付着し検出が出来なくなることがあります。 |
| [17] |  <p>光が直接入ると誤検出する場合があります。 センサ中心部より±15°以内に光が直接入らない様に考慮してください。</p> |
| [18] |  <p>排気筒からの蒸気を検出することがあります。 排気筒の近くには設置しないでください。</p> |

※CUはセントラルユニット、SSは降雪センサ部を示す。